

平成24年度前期芦安中学校学校関係者評価書

平成24年9月11日

芦安地区学校関係者評価委員会

委員長 松本 賢司



1 経過

第1回芦安地区学校関係者評価委員会

〔日時〕平成24年8月31日(金)19時30分～21時00分

〔場所〕芦安小学校多目的ホールにて

2 参加者

	氏名	役職名		備考
1	秋山 栄男	芦安子を守る会会長		
2	伊東 義巳	木工指導者 民宿よしみ経営		
3	倉園 哲也	芦安小学校PTA会長		
4	清水 実	南アルプス市議会議員		
5	松本 賢司	芦安中学校PTA会長		委員長
6	森本 章雄	芦安地区学校応援団代表		
7	深澤 信臣	芦安小学校	校長	
8	竹内 幸人		教頭	事務局
9	河住 悦久		教務主任	
10	輿水 哲男	芦安中学校	校長	
11	小尾 一彦		教頭	事務局
12	伊藤 浩一		教務主任	

3 学校側から提案された内容

〔前期中学校自己評価の分析と改善方策〕

- (1) 前期(7月)教職員アンケート結果
- (2) 前期(7月)生徒アンケート結果
- (3) 芦安中学校前期自己評価書

4 協議された主な内容

- (1) 前期アンケート結果への質疑
- (2) 自己評価の結果の内容についての検証
- (3) 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策についての検証
- (4) 今後の芦安地区の教育のあり方について

5 評価委員会で出された主な意見

(1) 芦安中学校の前期学校評価について

- ・「困ったときに相談できる先生はいない」このことをどのように把握し、個別指導をどのように考えていくか大切なことだと思う。
- ・学校規模が小さく、生徒も少人数のため学習面で他との比較が出来ないので、励ましの指導を行い学習持続の意識を高めていただきたい。
- ・子どもたちが成長し、新しい社会で生活することを考えると、言葉遣い・マナー・社会の常識・人間性を育てて欲しい。
- ・地域防災が叫ばれている中、登山経験から「生き抜く力」を育てていただきたい。また、市内の興味ある先生方に参加していただくことは出来ないだろうか。
- ・在籍数の減少を考えるとクラブ等の見直しは当然だと思う。また、今行っている新聞配達についても課題だと思う。
- ・学校と保護者が問題を共有し、解決できることは、芦安中の特色の一つと考えてよいと思う。

(2) 今後の小中学校教育の推進について

- ・芦安小中での連携（授業・行事等）を継続できるように考えて推進して行ってほしい。

(3) その他

- ・地域の活性化に向け教育課程（英会話科）だけでなく、住みたくなるような条件整備（住居・交通網）を考えていくことが必要ではないか。
- ・この夏実施したチロルの短期留学の参加が多く評判が良かった。他地区から芦安の地に興味が示されている。
- ・芦安地区の活性化に向け、チロル学園の施設を活用して、他の地域の子どもたちの交流を図っていただけるように提案していきたい。

6 評価・分析

芦安地区学校関係者評価委員会において、「芦安中学校グランドデザイン」「学校経営方針」に沿って行われた自己評価（職員・生徒）の項目から、調和のとれた教育活動が進められていることが確認できた。評価が高かった項目は今後も伸ばしていき、課題となった項目については、2学期以降の重点指導項目として、改善に努めて行ってほしい。

- (1) 全員が 理事であるPTA理事会を、単なる連絡機関でなく、子どもたちのことを話し合う場と捉え、芦安中生徒の問題を隠すことなく教員、保護者みんなで考え、問題を共有し解決を図ってほしい。
- (2) 学習指導については、少人数という学校の特色を活かして、基礎学力の定着や学力の向上をめざして、授業改善や個に応じた指導を行い、今後も「まなびの時」「補習学習」の充実を図って行ってほしい。また、家庭との連携を図り、家庭学習の習慣化に努めてほしい。
- (3) 人間性の育成（あいさつ、言葉づかい、相手を思いやる態度等）を図るために、道徳の時間や学校教育全体の中で継続的な指導を行ってほしい。また、家庭や地域における規律ある態度や規範意識の育成に向けて家庭との連携を図ってほしい。
- (4) 行事に追われるのではなく、芦安中の生徒にとって必要な力は何かを考え、学力の定着や主体的に活動できるための各種行事等、教育活動の精選や改善を図ってほしい。